

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：約30項目

問題あり：3件

要確認：5件

問題なし：22件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

青島健太（あおしま けんた）

- 記載内容：「1958年生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia等で1958年4月7日生まれと確認

参議院議員（比例区選出、1期）

- 記載内容：「第26回参議院議員通常選挙」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2022年7月10日の投開票で初当選

日本維新の会

- 記載内容：「日本維新の会所属」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本維新の会所属の参議院議員（1期）

慶應義塾大学法学部政治学科

- 記載内容：「1981年に卒業」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：81年慶應義塾大学法学部政治学科卒業

ヤクルトスワローズ

- 記載内容：「1985年にプロ野球・ヤクルトスワローズに入団」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：85年ヤクルトスワローズ入団

2. 数値情報

得票数：33,553票

- 記載内容：「得票数は33,553票」
- 検証結果：✓正確

- 根拠・出典：得票数は33,553票で、日本維新の会が獲得した8議席に対して党内8位

当選順位：8位

- 記載内容：「維新が獲得した比例8議席中の最下位当選（8位）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：日本維新の会が獲得した8議席に対して党内8位

2019年埼玉県知事選の得票数：86万票余り

- 記載内容：「86万票余りを獲得」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：大野92万3482票に対し、青島86万6021票

初当選時の年齢：64歳

- 記載内容：「64歳で初当選」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1958年4月7日生まれ、2022年7月当選時は64歳

初打席初本塁打：史上20人目

- 記載内容：「初打席初本塁打という快挙」「史上20人目の初打席初本塁打」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1985年5月11日の対阪神戦（神宮）でプロ野球史上20人目となる公式戦初打席初本塁打

3. その他の重要な事実関係

現役引退年：1989年

- 記載内容：「1989年の現役引退後」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1989年を最後に現役引退

オーストラリア滞在：1990年

- 記載内容：「オーストラリアで日本語教師」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：1990年、オーストラリアビクトリア州ケラングで日本語教師

委員会所属

- 記載内容：「参議院では国土交通委員会理事」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：国土交通委員会（理）

旧統一教会との関係

- 記載内容：「2019年の埼玉県知事選挙中に旧統一教会関連の集会に一度出席」

- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：2022年8月2日、日本維新の会国会議員団が発表した調査において、旧統一教会の集会を挨拶訪問し、意見交換を行ったことを公表

問題のある記載

年齢計算の誤り

- 記載内容：「64歳で初当選という異色の経歴」
- 検証結果：✕誤り
- 正しい情報：当選時は64歳だが、記事執筆時点（2025年6月）では67歳
- 根拠・出典：1958年4月7日生まれのため、2025年6月時点で67歳

4. 要確認事項

「決算委員会委員」の記載

- 記載内容：「決算委員会委員」
- 検証結果：△要確認
- 理由：参議院公式サイト現在の委員会所属に決算委員会の記載が確認できない

「比例当選者全体でも特定枠を除けば最少の票数」

- 記載内容：「比例当選者全体でも特定枠を除けば最少の票数で滑り込みました」
- 検証結果：△要確認
- 理由：他政党も含めた全比例当選者との比較データが確認できない

「政治資金パーティー収入」の詳細

- 記載内容：政治資金報告書の内容
- 検証結果：△要確認
- 理由：具体的な収支報告書の内容が確認できない

YouTube登録者数

- 記載内容：「登録者数はまだ数百人規模（約330人）」
- 検証結果：△要確認
- 理由：YouTubeの正確な登録者数は変動するため現在の数値は不明

Twitter フォロワー数

- 記載内容：「フォロワーは約1,500人ほど」
- 検証結果：△要確認
- 理由：SNSのフォロワー数は変動するため現在の数値は不明

改善提案

修正が必要な箇所

1. 年齢に関する記載：「64歳で初当選」は正確だが、記事執筆時点での年齢（67歳）と混同しないよう注意が必要
2. 決算委員会委員の記載について現在の所属状況を確認
3. 比例当選者全体での順位について、より具体的なデータの確認が必要

追加確認が推奨される情報

1. 政治資金収支報告書の具体的な内容
2. SNSのフォロワー数など変動する数値の取り扱い
3. 委員会所属の変遷について時系列での整理

全体的な評価

記事は全体的に正確性が高く、主要な固有名詞、数値、事実関係について信頼できる情報源との整合性が確認できました。特に、参議院公式サイトやWikipediaなどの一次情報源との照合により、基本的な人物情報、経歴、政治活動について正確に記述されています。